

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

12月号／2010年12月1日発行

3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

11月30日火)
18:30～**11月通常例会・公開講演会**会場
いわき建設会館5F

テーマ「～今、中小企業はなにをなすべきか！～最近の経済情勢と中小企業経営のあり方」

帝京大学経済学部経営学科 教授 黒崎 誠氏



11月通常例会が11月30日建設会館で開催された。

佐久間一枝例会委員長の司会により、吉田嘉徳さんが三つの目的唱和。続いて寺主君男代表幹事から、今月のベトナム視察研修の報告と御礼のあいさつがあった。その後、報告連絡事項を終了し、誕生月の花鉢プレゼント、小野賢司さん、吉田嘉徳さん、鈴木敏広さんの3名にポイントセチアが送られた。

続いて「～今、中小企業はなにをなすべきか！～最近の経済情勢と中小企業のあり方」と題して、帝京大学経済学部経営学科 黒崎誠教授の公開講演は、一般のお客様も含め70名が参加し開催された。

公開講演会に先立ち、寺主君男代表幹事が、「いわき市は現在人口が減ってきている。いわき経済同友会は創立24年。同友会としても様々な勉強の取り組みを通して、社会貢献をしながら地域経済を盛り立てる必要性がある。本日、お越しいただいた方々には厚く御礼を申し上げます」と御礼の挨拶を述べた。

【公開講演会内容】

冒頭、黒崎教授は、今後、円高が是正されるのか、今まででは、アメリカなど世界7カ国で決められていたものが、中国などの新興国が出てきている中、円高で

11月誕生月プレゼント

ポイントセチアが贈されました。

平成22年度11月通常例会



左から鈴木敏広さん(11/11生)、寺主代表幹事、小野賢司さん(11/2生)、吉田嘉徳さん(11/6生)

はなくドルを信用しないという結果になっていると指摘した。

また、日本と中国の問題では中国側がかなり無理難題を押し付けていると断言。尖閣諸島の問題については、国際的にも尖閣諸島は日本の領土であることははっきりしているし、レアメタルの件も同様である。製品は中国で製造されているものが多く、レアメタルを日本に売らなければ困るのは中国。この様な状況はいつまでも続かないのではないかと説明した上で、中国の地方の日常生活に触れ、国民の豊かさは、都会と地方の格差は話にならないものがある。地方ではまだ川で洗濯をしているし、農家などはやっと耕運機が使われ出しており、ロバやラバなどで農作物を朝市で運んだりしていたり、日本では考えられない「犬」の肉も食べていると、この夏中国に行った時の地方の実状を説明した。

次に、日本の今後の人団問題にふれ、いわき市の現在の人口34万人であるが、2035年には27万3千人まで減り、それに伴って高齢化率も進み、労働人口(15歳から64歳まで)は、現在では61%だが53.8%に減少する。その上、結婚していない人が増えているので、人口が増えるわけがない。日本全体、夢が持てなくなっているのではないかと危惧した。

しかし、日本は、産業において国際競争についていける強さがある。例えば、日本の車は燃費が良いし、工学機械においても強い。新聞の印刷で輪転機は活躍するが、世界の80パーセントの輪転機を日本の会社が製造していることはあまり知られていない。今後、日本が世界のトップ・オンラインになるには、「3Kと3S」が必要であると強調した。

「3K」とは、『こだわり』『小回り』『顧客』、「3S」とは『創意』『先取り』『スピリット』であると、最初の事例として、世界の潜水艦の殆どを製造しているスクリューカーが創意工夫で現在の会社に成長させた事例を基に、

自らの著書の中から日本の中小企業が成功した事例、企業再建を果たした事例などを紹介した。社長以下全従業員がこだわりを持って商品作りをした事例、製品を3本送ってくれ、など小さな事でも小回りをきかせて信用を作った会社、ゴルフ会員券会社の倒産の危機を顧客が救った事例、

鳥取のすし屋が、すしを冷凍パックにして創意工夫することでヒットを飛ばした事例、大阪のボルト工場の不可能に挑戦する先取りの事例、老舗の笛製造会社が社運を賭けて、競技用の笛からワールドカップ用の笛に採用されたスピリット、本当に良い物づくりを通して、生き残りを図る企業の熱い思いを黒崎教授がユーモアを交えながら、時には厳しく鋭く持論を展開した。

時間の経つのも忘れ、あっという間に講演が終了した。講演終了後の質疑応答も活発に出され、会員、一般の方々、それぞれに黒崎教授から勇気と感動、モチベーションアップに繋がる講演会に大満足の様子だった。



黒崎 誠 教授

黒崎 誠 教授の略歴

1944年群馬県生まれ。1968年東京工業大学卒業後、時事通信社に入社。科学、鉄鋼、繊維、流通などの産業界の他、経団連、日銀、経済産業省、旧大蔵省、情報通信などを担当し、約36年間経済部一筋の記者活動を続ける。この間、高度成長、バブル崩壊、消費税の導入、水俣病、イタイイタイ病などの公害事件、そして金融機関の不良債権処理、再編成などの戦後経済の転換を取材報道してきた。また、リクルート事件、流通株買占めなどの大型経済事件も担当。宮崎支局長、福島支局長を経て、94年編集委員、2000年解説委員。2004年に同社を退社し、帝京大学経済学部に移り、現在に至る。

平成22年度 研修委員会先進地視察研修旅行報告

○ 実施日 平成22年11月14日～11月17日(3泊4日)
○ 研修先 ベトナム・ホーチミン 香港

本年度の研修は、いわき経済同友会でも過去2度訪問しているベトナム・ホーチミンを中心、現地事情に大変詳しい大和田宏常任幹事にお骨折りをいただき、その後のベトナム経済状況視察をメインテーマに視察してまいりました。

11月14日朝6時、小野研修委員長を団長に18名、まだ夜も明けきらない中、元気に出発しました。成田空港で大和田常任幹事、姪子さんのフルート奏者梶井葉子さんと合流し総勢20名で成田空港から、キャセイパ

シフィック航空にて香港経由ホーチミンまで、8時間の長い機内の旅でした。ベトナムと日本の時差は2時間です。

予定時間にホーチミンに到着。ホーチミンは季節が雨期と乾期に分かれています。11月は乾期で雨期よりも過ごしやすいと聞いていましたが、暑いが第一印象でした。市内レストランで、ベトナム料理（何種類かの植物の花を材料とした麺が印象的でした）、現地の伝統的楽器と梶井さんのフルート演奏とのコラボも楽し

いひと時でした。

2日目は朝食後、ホテル内会議室でベトナム南部協同組合・中小企業振興センター所長のレ・ビン・フーン氏から「現在のベトナム経済事情と今後の日越の未来」についてご講演をいただきました。フーン氏はいわき経済同友会の前回訪問時にも大変お世話になつており「いわや」での新年例会でお会いした方も記憶に新しいかと思います。

その後、バスにてインビジブルオフィスを訪問。この会社は、外国企業のベトナム進出に際し、駐在事務所等の諸手続きならびに「オフィス・デスク・人・機能等」目的・予算に応じて対応してくれる会社で、皆さん熱心にまた具体的な質問まで飛び交っていました。午前中の熱心な研修は大分予定時間をオーバーし午後訪問予定の竹内精工株さんへの到着は1時間半も遅れ大変ご迷惑をおかけしました。

竹内精工さんでは、現地法人BIC JAPAN CO.,LTD の竹内毅社長と本社の竹内三男社長自らが、近くのゴルフ場内のレストランで毅社長お奨めのカレーで我々をもてなしてくれました。昼食後、シンガポール工業団地の一角にある会社を視察しました。2006年10月に15名でスタートした竹内精工さんも、現在では160名の社員が在籍しているとの事。竹内社長は「ベトナム人は勤勉で優秀である。また、成功率が高く、この団地で日本企業40社の内、撤退は一社のみ。しかし、一番大切なのは事前にベトナムの法律をしっかりと確認する事である」とご説明されました。また、毅社長は「日本のやり方で社員教育と技術力を徹底している。離職率が高いこの国で、1年以上の社員が8割以上いる。他の日系企業が視察に来ている」とのご説明をいただきました。



サイゴン教会前にて



ワインザープラザホテル内会議室にて
レー・ビン・フーン氏の講演を聴



インジブル オフィスにて社長から説明



竹内社長と竹内毅現地法人社長

竹内精工さんのベトナム工場前にて

研修終了後、2日目の夜はサイゴン川ディナークルーズ。おいしい料理と陽気な歌や踊りを満喫しました。3日目は、市内観光。戦後35年のホーチミンは戦証記念館で痛ましいベトナム戦争の戦時記録が展示されています。また、統一会堂（旧大統領官邸）の地下には地下司令室など、当時のままの状態で公開されています。午後からは、最も賑やかなドンコイ通りを見学し、フォーや生春巻きの早い夕食を済ませ大和田・梶井両氏とお別れしホーチミン空港へ向かいました。

香港行きのキャセイ航空764便は19：10発予定だったが3時間半の遅れ。空港で時間調整をしながら22：35のフライトとなってしまいました。香港のホテル着は夜中の3時過ぎとなり、大変長い一日で皆さんお疲れでした。

最終日は、少し遅い出発で香港でのショッピング・飲茶の昼食を済ませて香港空港へ向かいました。香港空港では「AKB48」のメンバー・成田空港ではアジア大会から帰国した全日本女子柔道の代表メンバーと一緒に何枚か記念写真を撮り、その後、バスでいわきへ向いました。

4日間の限られた日程で大変ハードな行程になつてしましました。参加者全員のご協力をいただき、全員健康で無事帰国でき、心より感謝申し上げます。去る11月30日に今回お世話になった竹内社長・大和田常任幹事を囲んで寺主代表にもご出席いただき反省会を行いました。

今回、お世話になった皆様に感謝申し上げ研修委員会の報告とします。

11月グループ会報告

経営秘訣研究グループ会

■日 時 11月25日(木曜日)18:30~

■場 所 いわき建設会館4F

●内 容 11月度グループ会は「会社独自のこんなルール」というテーマで行いました。

より良い経営環境確立のために参考となるであろう、様々な企業独自のルールをまずインターネットで調べまして、それを叩き台に各社のルールを教えていただき、ディスカッションいたしました。皆様が様々な工夫を凝らして経営環境改善を行っていること、また業界ごとのやり方等を教えていただき、有意義なG会となりました。



経営品質向上グループ会

■日 時 11月12日(金曜日)18:30~

■場 所 パレスいわや

●内 容 アルパインビジネスサービス㈱等主催の「いわきヒューマンソリューションセミナー」に参加し、あすか社会保険労務士法人 代表 菊地秀明様を講師に迎え、実例から学ぶ「会社が変わる！直ぐに使える人事労務7つの手法」について講演をいただき、人事労務の研修をしました。

全ての労務管理は採用時から始まるとの観点から、会社を変える為の手法を学びました。

- I. 雇い入れ側のニーズ(何故採用するのか？実力を発揮できる人なのか？)
- II. 採用で会社を変える戦略における募集の考え方(⇒良いイメージ創り、条件の設定)
- III. 応募段階での注意事項(履歴書等から何が読み取れるか)
- IV. 面接前の準備(面接で聞くべき事項の整理と入社志願書の作成)
- V. 採用選考の知識(⇒伸びる人に共通する要素の確認、適正検査・C U B I C)
- VI. 面接段階での注意事項
- VII. 採用後の見極め期間としての試用期間(⇒妥協採用を避けるには？)

「労働トラブルから会社を守る」方法、及び「派遣会社を活用してより良い会社を創る」についての講義も受けました。人事労務管理上、大変有意義な講義でした。

スポーツ交流グループ会

■日 時 11月25日(木曜日)19:00集合

■場 所 スポルト平

●内 容 スポーツ交流グループ会は、会員相互の交流促進と健康増進を目的とし、本年度2度目のボーリング

大会を、スポート平にて開催致しました。ボーリングは、意外に運動量があり、3ゲームの運動量は、散歩に換算するとおよそ80分歩きわった運動量に匹敵するそうです。また心臓に負担をかけず運動効果は大きく、全身運動により新陳代謝を活発にし、血行を促進するので生活習慣病の予防や、ひざの屈伸運動によって知らず知らずに足腰の強化になり転倒事故の防止にもなります。何歳からでも始められるお手軽なスポーツと言われています。平日ではありましたが、職場の同僚によるボーリング大会なのか、世代を超えてボーリングに興じるグループで、賑わっておりました。時間に遅れて参加した会員の方も2ゲームをほぼ同時に終了し、スペアやストライク、ターキー等も出て一喜一憂しながら楽しく時間が過ぎてゆきました。表彰式は長谷川副代表幹事の提案で、平市内の飲食店に場所を移して表彰式と反省会を行いました。研修委員会開催の「ベトナム研修ツアー」に参加された会員より、現地の進出企業のお話や写真なども拝見し、惜しみつつも閉会となりました。お忙しい中ご参加頂いた方々に深く感謝いたします。



資質向上グループ会

■日 時 11月27日(土曜日)8:30集合

■場 所 平・菅波方面

1 大国魂神社：延喜式内勅宣 正一位、陸奥の国岩城郡内七社の主座(大国魂とはうるわしい国土に宿る靈力をいい、国土の安寧と繁栄を守る神として奉斎。)山名隆弘宮司の案内で急な階段を上り、云われ・縁起伝承・神事等について説明を受けながら境内を巡る。飛び地境内の甲塚(古墳として国指定史跡)や近くにある夏井廃寺・磐城郡衛と根岸遺跡についても説明を受ける。更に古式ゆかい宮司宅にて、8世紀から明治維新までのいわき市内の歴史と文化[大族長たる石城国造・磐城臣雄公の活躍～地頭磐城氏・戦国時代の磐城氏(岩城・佐竹・伊達の三角関係)・(浄土宗・曹洞宗・真言宗の活躍と文化形成)・江戸時代のいわき(幕藩体制下における新田開発・百姓一揆・藩学の活況・揺れる幕末～明治維新)]について内容の濃いお話を受けた。お茶うけに、きゅうりと隼人瓜の漬物を頂たが絶品。好天に恵まれ談笑のスタートを切る。

2 浄土宗名越派總本山・専称寺：国指定建造物(本堂・庫裏・総門)等 名越派檀林寺院として、東北一円をはじめ全国に教義を広めた東北1・2の大寺院であった。



眼下には、東に流れる夏井川や田畠と光り輝く太平洋

を望み、悠久の想い
に馳せる事が出来た。惜
しむらくは、傾いた本堂
の静けさと住職の不在。
いわき市は、この文化財
をどのように後世に伝え
ようとするのだろう？



朽ち果ててからでは…遅い。山名宮司から故本山如来寺と大国魂神社との関わりについても説明を受けて後にする。

- 3 長友館と長隆寺：鎌倉時代末に好間荘大野郷の地頭岩城小次郎が住居として館を築き、祈願時として長隆寺を開山。国指定の木造地蔵菩薩立像は177cmの檼の寄木造り。仏師快慶作と伝えられる美しさに、参加者一同見惚れていきました。本堂にて、弘法大師(空海)から伝教大師(最澄)宛ての書の写しを拝見。書の美しさに感心しきりでした。
- 4 薬王寺：徳川時代まで新義真言宗の東国第一の大本山として栄えた。1868年7月戊辰戦争で全山消失。国指定の木造文殊菩薩騎獅像他、市指定絹本着色涅槃図など説明を受けながら、皆食い入るように拝観。その素晴らしさに頷くのみ。

- 5 恵日寺：県重要文化財・木造阿弥陀如来立像や平将門の娘滝夜叉姫の伝承の寺。京都醍醐寺報恩時の末寺となり岡本談義所として僧侶の教育にあたった寺です



イパンで玉碎した高木海軍大将の墓もある。紅葉と仁井田浦まで広がる田圃が美しい。

- 6 いわきの奥座敷、久ノ浜の滝田館にて猪鍋を食す。

12月ご グル 案 内 会

- 経営秘訣研究グループ会／12月13日(月) PM6:30～
新つた 忘年会（合同忘年会）
- 経営品質向上グループ会／12月13日(月) PM6:30～
新つた 忘年会（合同忘年会）
- スポーツ交流グループ会／12月16日(木) PM6:30～
いわき建設会館 5F 担当例会開催

ピリリと辛味猪の肉や野菜を入れる間もなく、モクモクと汗をかきながらアッと言うまに空っぽに…

※参加者の皆さん、強行軍のスケジュールにも関わらずご苦労様でした。楽しい、そして有意義な一日でした。



新入会員紹介

皆さん 宜しく
お願いします！
山崎勇一郎



株山崎活版所
取締役
業種／印刷業
生年月日／昭和54年8月28日
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字二町目17番地

FMIいわき「いわき経済同友会だより」

下記の日時にオンエア放送されますので、お聴き下さい。

- 毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)
【12月予定放送】

- ・12月 6日 例会委員会 佐久間一枝 氏
- ・12月13日 会員増強委員会 四ツ倉隆裕 氏
- ・12月20日 研修委員会 吉田 泉 氏
- ・12月27日 企画総務委員会 鈴木 敏広 氏

※インターネットでも、FMIいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。

<http://www.simulradio.jp/>

12月通常例会のご案内

12月16日(木)

18:30～ 会食
19:00～ 講演会
20:30～ 例会

テーマ 「トップアスリートから見たいいわきの経済と文化」

講師 日本競輪選手会福島支部長代行 金古 将人氏

会員の皆様には、ご多忙のことと思いますが、会員の皆様のご出席頂きますようご案内申し上げます。

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 山名二郎
副委員長／阿部晴康・岩尾英子・坂本和久・清水雅昭
委員／田村慎太郎

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp